

8月26日(月)から30日（金）の5日間にわたり、社会基盤メンテナンス教育センター及び舞鶴市内橋梁現場において、高専生を対象にインターンシップを実施しました。



<参加校>

長岡工業高等専門学校、徳山工業高等専門学校、福島工業高等専門学校、木更津工業高等専門学校、明石工業高等専門学校、呉工業高等専門学校、和歌山工業高等専門学校、阿南工業高等専門学校から計18名

e-learning(事前学修)		iMec講習会【基礎編(橋梁点検)】					
講座名		限	時間	(分)	講座名	内容	日
橋梁工学		-	8:25-10:00	(95)	ガイダンス	スケジュール、受講者交流、事前学修のチェックテスト	8月26日(月)
コンクリート構造物の損傷		1	10:10-12:30	(140)	橋梁工学	概説、演習問題	
構造物の補修・補強		2	13:25-15:00	(95)	コンクリート構造物の損傷と対策	損傷探索実習、実物見学・解説	
鋼構造物の損傷		3	15:10-17:50	(160)	鋼構造物の損傷と対策 共通の損傷	損傷探索実習、上部工・下部工・支承・舗装・付属物等の実物見学・解説	
共通の損傷		-	18:00-18:30	(30)	レポート作成	レポート作成、プレゼン準備	
橋の点検要領		4	8:25-9:30	(65)	現場実習ガイダンス	橋の点検要領、実習橋梁諸元	8月27日(火)
コンクリート橋の点検		5	9:30-12:30	(180)	コンクリート橋の点検	現場実習、定期点検の着眼点	
		6	13:30-17:30	(240)	維持管理計画	維持管理計画の立案演習	
		-	17:30-18:30	(60)	レポート作成	レポート作成、プレゼン準備	8月28日(水)
橋の点検要領		7	8:25-9:40	(75)	現場実習ガイダンス	橋の点検要領、実習橋梁諸元	
鋼橋の点検		8	9:40-11:20	(100)	鋼橋の点検	現場実習、定期点検の着眼点	
		-	13:00-14:00	(60)	レポート作成	レポート作成、プレゼン準備	
詳細調査手法		9	14:00-15:40	(100)	詳細調査手法	ひび割れ幅、剥離剥落、空洞、中性化深さ、塩分量、Co強度、鉄筋探索等	8月29日(木)
		-	15:50-18:15	(145)	レポート作成	レポート作成、プレゼン準備	
		-	8:25-11:10	(165)	クレーンブリッジ	クレーンブリッジでの現場実習	
		-	12:30-15:00	(150)	レポート作成	レポート作成、プレゼン準備	8月29日(木)
		-	15:00-19:00	(240)	プレゼンテーション	プレゼン発表	
		-	8:25-9:00	(35)	まとめ	質疑応答	8月30日(金)
《凡例》	e-learning講座単位	10	9:10-10:00	(50)	学修到達度確認試験	問題数30問、回答時間45分	
	座学	-	10:00-10:50	(50)	モニター調査	アンケート	
	体験型学修	-	11:00-12:00	(60)	修了式	修了証の交付	

《凡例》	e-learning講座単位
	座学
	体験型学修



◆1日目（8月26日）

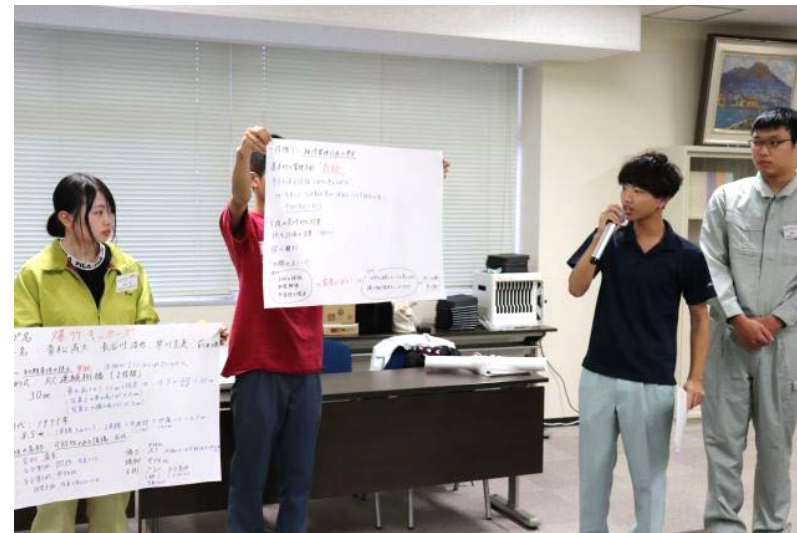
全国各地の工業高等専門学校から18名が参加した講習会は、自己紹介からスタートしました。その後、テキストを用いて座学を受講。午後からは、社会基盤メンテナンス教育センター（i M e c）が保有するコンクリート構造物と鋼構造物の劣化サンプルを探索し、損傷部位を撮影、玉田教授から詳しい説明を受けました。撮影した写真はレポート作成に使用しました。





◆2日目（8月27日）

相生橋でコンクリート橋の現場実習をしました。橋の全景を見ながら説明を受けた後、コンクリートをハンマーでたたき損傷部位の音の違いを確認しました。高い位置には梯子で上って近接で確認することを学びました。帰校後は、維持管理計画の演習をしました。限られた情報から考え得る様々な可能性をグループで話し合い、その後グループごとにプレゼンを行いました。





◆3日目（8月27日）

ニツ橋で鋼橋の現場実習をしました。小雨が降る中、鋼橋の仕組みと損傷部位の学修をしました。道路の上からだけでなく下から見上げ損傷部位を確認することの大切さを学びました。重要箇所を撮影し、帰校後のレポート作成に使用しました。午後からは i M e c で詳細探査実習をしました。電磁波レーダー、サーモグラフィー、リバウンドハンマー各機器の用途の説明を受けた後、実際に体験しました。





◆4日目（8月29日）

舞鶴市で一番大きな斜張橋（クレインブリッジ）を見学に行きました。橋を下側から見上げる貴重な経験をしました。また、橋の内部に入って暗く狭い中をライトで照らしながら移動する大変さを体験しました。3日間お世話になったマイクロバスもこの日が最後でした。帰校後は、インターンシップの成果を一人一人がプレゼンとして発表しました。





◆5日目（8月30日）

最終日です。事前学修のeラーニングで学んだ基礎知識と5日間のインターンシップで学んだ内容を学習到達度確認試験で確認しました。この試験の結果により合格者には准橋梁点検技術者資格が認定されます。試験終了後には、玉田教授より修了書が授与されました。最後にモニターアンケートを記入し5日間のインターンシップは終了しました。